

第二回模擬試験問題（国語）

受験番号
氏名

一

次のA～Cの問いに答えなさい。

A 次の1～5の傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- 1 机上の空論である。
- 2 体調不良を訴える。
- 3 笑顔に胸が弾む。
- 4 朗らかに笑う。
- 5 趣があつて良い。

B 次の1～5の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- 1 シンチョコウに手入れする。
- 2 センモン家の意見を聞く。
- 3 化石をハックツする。
- 4 水面のハモンを撮る。
- 5 野菜を皿にモる。

C 次の1～5のそれぞれの問いに答えなさい。

- 1 傍線部の品詞を答えなさい。
トーストの良い匂いで起きる。
- 2 次の□に適当な漢数字を入れて、慣用句を完成させなさい。
□死に□生を得る。
- 3 次の文章で使われている表現技法をア～ウから選び、記号で答えなさい。
私の弟はいわゆる本の虫だ。
ア 比喩法 イ 倒置法 ウ 擬人法
- 4 日本に現存する最古の和歌集は次のア～ウのうちどれか記号で答えなさい。
ア 古今和歌集 イ 若菜集 ウ 万葉集

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

○ラーメン屋の厨房 店主が寸胴鍋のスープをかき回している。アルバイトが厨房に入ってきて、店主は顔をあげる。

バイト「だって、店長。①うちの店のラーメンって……控えめに言っても美味しくないじゃないですか。うちの店が食べログで何点つけられているか知ってます？」

店主「知らねえな」

バイト「1・8ですよ、1・8。逆にこんな点数あるんだって感心しちゃいましたよ」

店主「まあ、そんなもんだろうな。別に驚きはしねえな」

バイト「スープはギトギトで脂っこいし、麺は水を吸ってブヨブヨだし、チャーシューなんてゴムを噛んでるみたいに硬いし。通りの向かいにあるラーメン屋の方が何百倍も美味しいのに、何でうちの店に大勢のお客さんが来るのか理解できません」

店主「はあ、ビジネスってもんが全くわかってねえな、お前は」

バイト「どういう意味ですか」

店主「うちに来るお客様はな、別に美味しいラーメンが食いたいわけじゃねえんだよ。まずいラーメンを食って、その悪口を言いたくてわざわざ遠い場所からいらっしゃってるんだよ」

バイト「はあ」

店主「美味しいラーメンを食べるのが好きな人間なんかより、ラーメンについて色々語ったり、他の人とお喋りしたいっていう人間の方が圧倒的に多いんだ。うちの店はなラーメンを提供しているわけじゃないんだよ。そういう人間に、好きなようにラーメンについてお喋りできるネタを提供してんだよ。それも好き放題叩いても嫌な気持ち一つしなないとびっきりのネタをな。ほら、例えばお前にもよ、②あんまり良い接客すんなって言ってるだろ？」

バイト「そうですね。お客さんが呼んでも、一回は必ず無視しろって言われてますし、皿洗いも衛生面でギリギリ問題にならない具合に汚れを残せてうるさいですもんね。言われたことしかやらない主義なんでそれはそれで良いんですけど、いつも不思議に思っていました」

店主「例えばだ。いくらラーメンがまずくても、店員の接客態度が良かったり、店全体にどこか人情味あふれるような雰囲気があったらよ、その店の悪口がちよつと言いにくくなるだろ」

バイト「そうですね、味がクソでも、そういう店にはたまに根強いファンがいますし。そういう人ほど、自分の好きなものを攻撃されたらものすごい勢いで反撃してきますもん」

店主「そうだ。わかってきたじゃないか。うちはな、お客様が何の罪悪感も感じず、何のリスクも冒さず、好き放題叩けるサンドバッグを提供してんだよ。お客様はストレス発散ができるし、③みんなから共感を得て承認欲求も満たせる。俺たちはその分、お金を稼げる。Win Winの関係だ。おかげさまでうちの店も笑えるくらいに稼げてるしな」

（中略）

バイト「はいはい。お金持ちもお金持ちで大変なんですね。とりあえず、私はお腹が空いたんで、休憩に入ります」

店主「食ベログ1・8の糞不味いラーメンならいくらでも食っていいぞ」

バイト「④そんなもの食べたくありません。私みたいな純粋なラーメン好きは、通りの向かいにある、本当に美味しいラーメン屋のラーメンを食べに行きます」

店主「おうおう、勝手にしろ。四時から仕込みだから、それまでには帰ってこいよ」

バイトが前掛けを外しながら厨房を出ていく。店主は再び寸動鍋をかき回し始める。少しして、⑤険しい表情を浮かべたバイトが再び厨房に入ってくる。

店主「どうした、忘れ物か。というか、何だその険しい顔は」

バイト「店長のせいです」

店主「なんだよ、突然」

バイト「向かいのラーメン屋……潰れちゃってました」

（村崎掲諦著『食ベログ1・8のラーメン屋さん』より）

問一 傍線部①「うちの店のラーメン」がなぜ食べログの評価が1・8の理由が述べられている箇所を、本文の会話文中から最初の五字を抜き出して答えなさい。

問二 傍線部②「あんまり良い接客すんな」について、なぜそうしなくてはならないのか、理由が述べられている箇所を、本文中から十八字で抜き出し、最初の五字を抜き出して答えなさい。

問三 傍線部③「みんなから共感を得て承認欲求も満たせる」について、その理由を後の選択肢から適当なものを選んで答えなさい。

ア 食べログ1・8のラーメンを食べに来た友達と、笑い話に出来るから。

イ 食べログに投稿することで、お客さん同士でネタに出来るから。

ウ 並んでいる大勢の客同士で、文句を好き放題言えるから。

エ ラーメンの味について、並んでいる客同士で共感できるから。

問四 傍線部④「そんなもの食べたくありません」について、なぜ食べたくないのか、次の文に当てはまる言葉を本文中から九字で抜き出して答えなさい。

「バイトは（ ） だから。」

問五 傍線部⑤「険しい表情を浮かべたバイト」とあるが、なぜ険しい表情をしているのか、簡潔に説明せよ。

問六 この場面から読み取れる適当なものを、後の選択肢から選んで答えなさい。

ア 店主は、美味しいラーメンを作りたくて悔しいと感じている。

イ 店主は、食べログの評価に関して納得をしていない。

ウ バイトは、このラーメン屋のアルバイトを辞めたいと思っている。

エ バイトは、自分が働いている店のラーメンは食べたくないと思っている。

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

お料理で「おいしい」が優先されるようになったのは、それほど昔のことではありません。「おいしい」が強調され、目的になったのは近年のことだと思います。だから、料理はたいへんだと思われるようになったのです。

現代では、忙しくて余裕もないのに、料理をする人は「おいしい」という「結果」を求められているのです。結果を先に求める料理は苦しいものです。しかも、結果に心を奪われると、①プロセスという手段は疎かになりがちです。

スポーツや仕事などを想像してみてください。結果だけを先に求めていたのでは、思い通りにはいかないもの。結果は一つひとつのプロセスの積み重ねについてくるものだからです。それは料理も同じです。

みなさんも、プロセスは省略して、結果だけがあればいいと考えることはありませんか。そのプロセスの意味を忘れてしまうと、料理は嫌になるものです。

嫌な行為にされた料理が気の毒ですが、それを我慢して、頑張ることが、家庭料理の務めとされてきたのです。

それでも、「おいしい」という豊かさに、希望を見出し、一生懸命頑張れた時代もありました。しかし、そんな時代はすでに終わりました。でも、社会には、まだ、無意識に②それを強いる空気があります。

確かに、嫌でも料理をしないといけない現実もあります。おいしいものを食べさせてあげたいという思いもあります。育ち盛りの子供たちがいれば、大変です。投げ出したくなることもあるでしょう。時々湧き上がるさまざまなおいしいの中で、今、家庭料理をする人の気持ちは

③とても複雑です。

そんな複雑な気持ちを持ちながら家庭料理をしている人に、私は、家族のリーダーになって欲しいと思っています。

④料理をする人が家の中のリーダーです。そもそも大昔の家族とは、そういうものだったの

でしょう。「なにを作るか」「なにを食べるか」は家族のリーダーが決めるのです。必要であれば、命令してください。そして最善の判断をしてください。判断できることは、生きていく自信にもなって、家族と自分（自分は家族です）の安心を支えます。家族の安らぎを作り、家族を守ることもつながります。どうぞ、いいリーダーになってください。

「お金を出せば、なんでも好きなものが食べられるし、料理なんかしなくても問題なし」

今は、このように考える人が多いように思います。

A、私にはそう思えません。料理す

る人の気持ちが家庭の環境を作り、その気持ちが家族に細やかに影響するからです。家のご飯は安らぎであり、自分を取り戻す時間でもあるからです。これからお話しすることですが、食文化や料理には大切な意味があるからです。

多くの女性、あるいは男性が、しあわせな家庭を持ちたいと思えば、「お料理を頑張ろう」と思うでしょう。愛する人にお料理を作ってあげたい、子供が生まれたら自分で作ったお料理で育てたいと思うはずです。

それはなぜでしょう？ お料理したいと思ったのは、「ちゃんとしよう（ちゃんと生きよう）」と思ったからではないでしょうか。人の気持ちって、ごまかせないんですね。「ちゃんとしよう」と思わないなら、お料理なんてしようと思いません。自分一人の食事なら、だれからも強制されないのですから。

ちゃんとしないといけないものだから、料理するのが辛いのです。手抜き料理でごまかすのがしんどいのです。だから、ちゃんとしている人（できる人）をSNSで見かけると、不愉快になるし、気にいらぬ。反対に、自分と同じように苦しんでいる人や手抜きやズボラは大好きです。嫌な自分が出てしまいますが、仲間がいることは気休めにはなりますね。

でも、⑤料理は、他者とは無関係な自分の問題です。

私は料理研究家として、メディアなどでレシピを提案するようになって、30年以上が経ちました。その間に、社会の変化に伴って、テレビや雑誌では手抜き料理や時短料理が流行りだしました。それは今も続いています。

何度もそういう仕事の依頼がありました。一度も受けたことがありませんし、これからも受けません。その理由は、家庭料理をしている人を尊敬するからです。だから、手抜きなんて言葉を使って自分や家族を傷つけて欲しくないのです。手抜きをして、らくをしても、しんどいという心の重さは無くならないからです。

(土井善晴著『くらしのための料理学』より)

問一 傍線部①「プロセスという手段は疎かになりがち」とあるが、料理において手段を疎かにし、結果だけを求めるとどうなるか。文中の言葉を使い簡潔に説明しなさい。

問二 傍線部②「それ」とは何か。文中より四字で抜き出し答えなさい

問三 傍線部③「とても複雑です」とあるが、どういう思いか。文中の語句を使い説明しなさい。

問四 傍線部④「家族のリーダー」の役割とは何か。適当なものを次のア～エから選びなさい。

- ア 料理の腕を追求する
- イ 家事分担の命令を出す
- ウ 家族の安心を支える
- エ 家族生活を豊かにする

問五 空欄Aに当てはまる接続詞を次のア～エから一つ選びなさい。

- ア そして
- イ でも
- ウ 一方で
- エ さらに

問六 傍線部⑤「料理は、他者とは無関係な自分の問題」といえるのはなぜか。答えとなる一文を文中より抜き出し、初めの五字を答えなさい(句読点などの記号も含める)。

問七 本文の内容と一致しないものを次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 料理においておいしさが優先されるようになったのは最近の事である。
- イ 料理をする意欲は「ちゃんとしよう」という意識から始まるものである。
- ウ 筆者は一人であってもちゃんとした料理を作るべきだと考えている。
- エ 筆者は手抜き料理や時短料理を紹介することに賛同していない。

四

次の古文を読み、後の問いに答えなさい。

※相模守時頼さがみのもりときよりの母は、①松下したしたの禅尼ぜんにとぞ申しける。※守を入れ②申まをさる事ありけるに、すすけたる※明かり障子の破ればかりを、禅尼手づから、小刀して切り回しつづ張られければ、兄じょうのすけよしかげの※城介義景じょうのすけよしかげ、その日の※けいめいしてア候まちもひけるが、「イ給はりて、※なにがし男に張らせ候はん。③さやうのことに心得たる者に候ふ。」と申されければ、その男、尼が細工に、よもまさり侍らじ」とて、なほ、一間づつ張られけるを、義景、「皆を張り替へ候はんは、はるかにたやすく候ふべし、まだらに候ふも見苦しくや。」とかさねて申されければ、尼も、のちはさはさとは張りかへんと思へども、④今日ばかりは、わざとかくてあるべきなり。物は破れたるところばかりを修理してウ用ゐることぞと、若き人に見ならはせて心づけんためなり」と申されける、いとありがたかりけり。

(『徒然草』より)

【語注】

相模守時頼：鎌倉幕府の執権であった北条時頼。

守を入れ申さる事：時頼を招待なさる事。

明かり障子：明りをとるために薄い紙を張った障子。

城介義景：松下禅尼の兄、足立義景。

けいめいして：準備につとめて。

なにがし男：だれそれという男。

さはさはと：すつきりと。

問一 傍線部①「松下の禅尼とぞ申しける」について次の問いにそれぞれ答えよ。

I この文で用いられている古文の法則を漢字で答えなさい。

II 「ぞ」の助詞の種類を次から選び、記号で答えなさい。

ア 係助詞 イ 格助詞 ウ 副助詞 エ 終助詞

問二 傍線部②「申さ」について、敬語の種類を次から選び、記号で答えなさい。

ア 尊敬語 イ 謙讓語 ウ 丁寧語

問三 傍線部ア「候ひける」イ「給はり」ウ「用ゐる」をそれぞれ現代仮名遣いにし、ひらがなで答えよ。

問四 傍線部③「さやうのこと」とは何を指しているか、現代語で答えなさい。

問五 傍線部④「今日ばかりは、わざとかくてあるべきなり」について次の問いにそれぞれ答えなさい。

I 「かく」の内容を具体的に答えなさい。

II 禅尼がこのよう振る舞いをして、誰に何を伝えたかったのか、説明しなさい。

五 作文

チャットGPTなど私たちの生活にAIが普及してきましたが、今後どのようなものをAI化したら便利になると考えますか。

- 1 原稿用紙の書き方に従うこと。
- 2 題名・氏名は原稿用紙のマスの中には書かないで、始めの行から書きだすこと。
- 3 字数は二百字程度とする。

